

通告順	議席番号	通告者
1	6	大槻和弘

1 災害公営住宅について

震災から10年を迎える中で、災害公営住宅の入居者の高齢化が課題となっている。「災害公営住宅入居者健康調査報告書」(H30年宮城県)によれば、65歳以上の高齢者の割合は54%となっている。本町も同程度と思われる。老老介護の問題とともに、今後の特別家賃低減事業等による家賃減免問題をどうするのか。

- (1) 災害公営住宅入居者が抱える問題を町長はどう捉えているのか。また、住宅入居者の意見を聞く場を設けてはどうか。
- (2) 建物管理開始後5年目までの特別家賃低減事業対策の減免家賃額を復興交付金の交付期間である令和2年度(H32年度)としているが、他の被災自治体同様に延長すべきではないか。
- (3) 子ども等の同居者の収入増などによる収入超過世帯について、収入超過者の退去を促し世帯所得の減少を図るのではなく、独居老人・老老介護対策として、令和2年度までの1/2減額措置をやめて、以前の減額措置に戻し延長すべきではないか。

通告順	議席番号	通告者
2	3	高野進

1 町長選挙の政策等について

- (1) 一昨年の町長選挙から2年が経過しました。
選挙公約である次の5つの政策等について伺う。
(昨年6月の一般質問が基)
- ①安心安全な子育てしやすい町づくりを推進します。
 - 1) JR亘理駅のエレベーター設置の進捗状況。
 - 2) 中央公民館入口のスロープ化計画の有無。
- ②教育環境の整備 人の心と亘理の未来を育てます。
 - 1) 学区の見直しの進捗状況。
- ③産業の振興 亘理の経済力を育てます。

1)活魚・加工品による新ブランドの創出は出来たのか。

2)交流人口のカウンターの仕方。

④「亘理町震災復興計画」の継続と迅速化。

1)令和2年3月末での復興計画事業の進捗状況及び今後の見通しについて。

2)今後は、地域コミュニティの再生が課題。具体策は。

⑤町のあるべき将来像を町民の皆様に描いていただき、協働で亘理の未来を創っていきます。

1)各地区交流センターが「まちづくり協議会」の体制を踏襲。町職員がサポートし、自分たちが生活する地域の課題解決やコミュニティの醸成を図り地域活性化に取り組むと答弁しているが、4月からどのように活動しているのか。また問題点は。

2)町の将来像を描いたか。描いたならば、その「理念」は何か。

2 今後の財政運営について

本町における最重要課題は、財政運営であると捉えているが、今後の財政運営に対する考え方、対応策を伺う。

(1)今年度の見通し及び具体的な対応策は。

(2)次年度以降の財政状況の見通し及び財源確保策は。

通告順	議席番号	通告者
3	2	鈴木邦彦

1 高圧水銀灯の製造中止に伴う対策について

「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が、平成27年7月に公布されたことにより現在製造販売している国内各社においては随時製造が中止されており、本年6月末時点で製造終了となります。また、輸入品においても来年1月以降の輸入が禁止となります。以上のことから本町の現状と対応を伺います。

(1)本町の公共設備・施設において、高圧水銀灯を使用している施設、街路灯等を把握しているのか。また、数量についても把握しているのか。

(2)各施設・街路灯等における高圧水銀灯の今後の改修計画は。

通 告 順	議席番号	通 告 者
4	8	小 野 明 子

1 町民の防災意識向上について

(1) 宮城県地域防災計画が令和2年1月に改定され、本町の「地域防災計画」についても本年4月に改定されています。近年異常気象による大雨による河川の氾濫・土砂災害等による被害が多発しているなか、町民の防災意識の向上を推し進める事が重要であると考え次の事について伺います。

- ① 今年4月に改定された「亘理町地域防災計画」に基づく防災マップの更新は考えているのか。
- ② 本町の「洪水タイムライン」は、平成31年2月に改定され現在町HP等で公表され周知されております。

自身や家族のとるべき行動について、あらかじめ時系列で整理しあわず安全に避難行動を行う助けとなる「マイタイムライン」(※)は避難行動の有効なサポートツールであり自助努力を促すための手法として、本町でも導入し作成を促してはどうか。

(※)大規模な水害等を想定し、自身や家族のとるべき行動についてあらかじめ時系列で整理し取りまとめたもの。

避難に必要な情報・判断・行動を把握し「自分の逃げ方」を見つけるもの。